2025年8月31日（日）
日本キリスト教団　久宝教会
第68巻第20号（通算3457号）
教会設立　1959年6月14日

週報

〒581-0072
大阪府八尾市久宝寺6丁目7－10
TEL 072-992-2131　FAX 072-992-2135
郵便振替：00980－5－212130　「日本基督教団久宝教会」
主任担任教師・牛田 匡 牧師
隠退教師・小林 達夫 牧師

教会標語
小さくされている人を
大切にする教会

ホームページ「久宝教会」（ウェブサイト）
http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027
kyuho-church@koinonia.or.jp

【集会案内】こどもの礼拝：毎日曜 10：00－10：20　何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝：毎日曜 10：30－11：30　小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。（ローマ５：５）

聖霊降臨節 第13主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

前奏（黙祷）　AVE VERUM CORPUS（©著作権消滅）
招きの詞　マタイによる福音書　12章 49－50節
賛美歌　21－162番「見よ、兄弟が」（©塩田泉）
聖書　コロサイの信徒への手紙　3章18節－4章1節
お祈り
賛美歌　21－393番「こころを一つに」（©讃美歌改訂委員会）
メッセージ「相手の中に神を見る」　牛田 匡 牧師
賛美歌　『みんなのさんびか１』「風と歌う」（©JASRAC）
主の祈り　21－62番「天にいます わたしたちの父」（©讃美歌改訂委員会）
誕生者祝福式　牛田 匡 牧師
献げ物（＊）
派遣　21－91番「神の恵みゆたかに受け」（1節のみ）（©JASRAC）
祝福　牛田 匡 牧師
後奏　アーメン コーラス（21－40－6番）（©教団讃美歌委員会）
報告　（4頁をご参照ください）

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》
＊受付に献金箱がございます。
「献げ物（献金）」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞　　マタイによる福音書　　12章49－50節（聖書協会共同訳）

[49b]「見なさい。ここに私の母、私のきょうだいがいる。[50]天におられる私の父の御心（みこころ）を行う人は誰でも、私の兄弟、姉妹、また母なのだ。」

聖書　　コロサイの信徒への手紙　3章18節－4章1節（聖書協会共同訳）

３：[18]妻たちよ、主にある者にふさわしく、夫に従いなさい。[19]夫たちよ、妻を愛しなさい。つらく当たってはなりません。

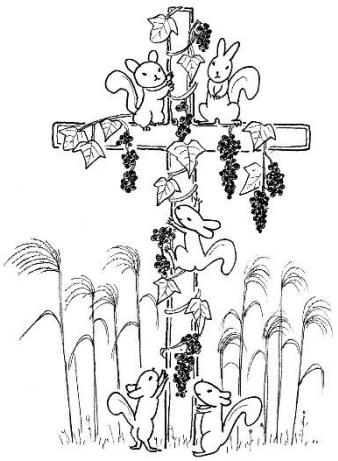
[20]子どもたちよ、何事につけ両親に従いなさい。それが主に喜ばれることです。[21]父親たち、子どもたちをいらだたせてはなりません。いじけるといけないからです。

[22]奴隷たち、何事につけ肉による主人に従いなさい。気に入られようとして、うわべだけで仕えるのではなく、主を畏（おそ）れる者として真心を込めて従いなさい。

[23]何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。[24]あなたがたは、相続にあずかるという報いを主から受けることを知っています。[a]主キリストに仕えなさい。[25]不正を働く者はその不正の報いを受けるでしょう。そこに分け隔（へだ）てはありません。

４：[1]主人たちよ、奴隷を正しく公平に扱いなさい。知ってのとおり、あなたがたにも天に主がおられるのです。

（脚注a：別訳「あなたがたは主キリストに仕えているのです」）



《先週のメッセージより》2025年8月24日

「もらうより、分け合う方がよい」　牛田匡牧師

聖書　使徒言行録　20章17－35節

パウロはエフェソの教会の長老たちに対するお別れの最後に、「私がいつも身をもって示してきたように、主イエスご自身が『受けるよりは与えるほうが幸いである』と言われた言葉を思い出すように、労苦して弱い者を助けなさい」（35）言いました。この言葉は、聖書の中ではここにしか登場しませんし、パウロは十字架につけられる前のイエス様とは一緒に行動していませんでしたから、この言葉はパウロが直接イエス様の口から聞いた言葉なのではなく、当時の教会の中で広く語り伝えられていた言葉だったのかもしれません。

確かに、イエス様の生涯を思い返しますと、「人々に様々なものを与え尽くした上で、最後には自分自身の命をも奪われてしま」いましたから、この言葉はイエス様の生き様を表わしているように理解されて来たかもしれません。しかし、「人に与える」ためには、そもそも自分が人に与えられるだけの何かを持っていなければなりません。ガリラヤ地方の貧しい農民や漁民たちと共に生きられたイエス様は、クリスマスにお生まれになった時から、何も持っていませんでした。仕事がなく、お金もなく、その日の食べ物にも着る物にも事欠くような生活の中で、それでも「求め続けなさい、そうすれば与えられる」（マタイ7:7）と、諦めずに願い求め続けること、そこにこそ神様が共におられ働かれるということを、イエス様はその言葉と振る舞いを通して、人々に伝えられていました。ですから、この「受けるよりは与える方が幸いである」という言葉は、むしろ「受けることより、すでに受けているものを互いに分かち合うことのほうに、神様からの力が働いている」（本田哲郎訳）と理解する方が、イエス様や弟子たち、またパウロとその周りの教会の人たちの実状に近いのだろうと思います。

私たちが暮らしていくためには、食物や着物など具体的な物やお金も必要ですが、それらによって全てが解決できるわけではありません。また、お金や物がなくても、それぞれの人が持っているもの、思いや祈りを分かち合うことによって、互いに支え合っていくこともできます。そして平和というものも、そのようなつながり合いの中にこそ、神様が共に働かれて作られていくのではないかと思います。私たちが持てるものは小さいですが、それぞれに与えられているものを分かち合うことを通して、神様によって豊かに用いられて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ　Facebook　YouTube

◎ 先週の報告　2025 年 8 月 24 日

礼拝出席 大人 8 人　子ども 2 人　献金 大人 5,000 円　中継視聴者数 24 回　感謝　　さんが、初めて来会されました。

礼拝後に、釜ヶ崎支援のために 177 個の「おにぎり」を作って、いこい食堂にお届けし、食堂前の四角公園にて、80 人を超える方々にお渡しすることができました。また手作りの梅干しとゆかりふりかけを献品いただきました。どうもありがとうございました。

◎次週 2025 年 9 月 7 日（日）聖霊降臨節 第 14 主日礼拝

招きの詞　ハバクク書　3 章 17－19 節
聖　書　ローマの信徒への手紙　8 章 18－25 節
メッセージ 「苦しみ呻く世界の中で」牛田匡牧師
賛美歌 21－223 番（©教団）、21－425 番（©JASRAC）、聖公会 476 番（©JASRAC）
礼拝後に、今年度 8・9 月期の教会を考える会をいたします。

◎お知らせ

・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。

・9 月 11 日（木）9 時半～11 時半に、釜ヶ崎・いこいの家にて、「聖書を読む会」を開催いたします。テキストは「聖書の話あれこれ」でコピーを配布します。参加費は無料ですが、会場費としてカンパがあります。どなたでもご参加ください。

・9 月 6 日（土）10 時～12 時にかけて、兵庫県西宮市にある関西学院短期大学（旧・聖和短期大学）にて、公開講座「視聴覚教材が子どもたちに贈るもの」が開催されます。講師は元 AVACO 総主事の木村誠甫さんです。何でも動画が見せてくれる時代に、木村さんは「絵ばなしや、フランネルグラフなどのアナログと言われる教材は、決して時代遅れの教材ではありません。むしろ感性を磨く優れた教材です」と語っておられます。静止画であるからこそ子どもたちは自分の頭で絵に動きをつけ、イメージすることができる――だからそれらは「今の子どもたちにこそ新しい教材」なのだというのです。どなたでも入場無料です。

◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
9/7	牛田匡牧師	ユーカリスト 教会を考える会
9/14	牛田匡牧師	敬老の日礼拝
9/21	牛田匡牧師	誕生者祝福式 おにぎり支援
9/28	礼拝は休会です（Youtube配信のみ）	